

第3回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日時 : 平成25年9月4日(水) 午後3時00分～5時00分
場所 : 奈良経済倶楽部 5階 大会議室
出席者 : 委員長 吉田 博宣
委員 川瀬 浩、佐野 純子、田中 和博、前迫 ゆり、
松井 淳、山倉 拓夫
オブザーバー 文化庁記念物課 本間調査官
事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室
関係部局 《奈良県》風致景観課、森林整備課、奈良土木事務所、
奈良公園管理事務所、文化財保存課
《関係機関》春日大社、林野庁奈良森林管理事務所、
奈良市景観課、奈良市文化財課

- 議題 ①平成25年度実証実験の進捗状況について
②春日山原始林保全計画 基本計画（素案）について
③今後のスケジュール

議事要旨

- 平成25年度実証実験の進捗状況について
 - ・パネルとネットの2タイプは施工性や経済性を踏まえ設定した。
- 春日山原始林保全計画 基本計画（素案）について
 - ・保全再生の目標値は、今回の検討結果をベースにしながら実証実験の結果や今後の基礎情報を加味して充実すること。
 - ・また、そのために必要な調査は着実に取り組んでいく。
 - ・春日山原始林の管理に人間がどのように携わってきたか経緯も追加すべきである。
 - ・具体の管理においては、GISを活用し下層植生や動物の状況などデータを蓄積していくなど、データの管理方法を構築していくことが望まれる。
- 今後のスケジュールについて
 - ・外来樹種の除去手法の効率性を試行できるような調査を含めてほしい。
 - ・下層植生フロラ調査は、レッドデータブック等の調査結果を活用するとともに、その調査結果を今後の取り組みに継続的に活用できるよう、奈良の植物研究会など多様な主体と連携しながら実施すること。
 - ・県民へのわかりやすい発信という視点から、カスミサンショウウオなど動物を対象とした調査も実施すべきである。
- まとめ
 - ・今回は計画の素案であり、以下の件を加味して今後の計画の充実を図る。
 - ・保全再生の目標値の検討は、今回の検討結果をベースとする。
 - ・安定した林分における植生調査、土壌浸食状況、水生動物等の現状把握など、必要性に応じて調査を充実していくこととする。
 - ・具体の管理は、GISなどのツールを活用しながらデータ管理を行うことが望まれる。